

スタッフの仕事に対する思い

私は臨床検査技師という仕事をしていますが、あまり聞き慣れない職種かもしれません。当院では、主に超音波検査や心電図検査、採血などを行っています。超音波検査は心臓、消化器、頸動脈などを検査しています。私は超音波検査を勉強したいと思い、永井医院に就職しました。超音波検査ができるようになるまでには、超音波の勉強や技術の習得に3年はかかります。4年目になると、超音波検査士という資格を取ることができますが、資格をとるためにさらに詳しい勉強をしなくてはなりません。当院ではなかなか遭遇することのない疾患や、行っていない技術も勉強します。この超音波検査士の資格を取得して初めて「一人前」と言えると思っています。同じ超音波検査を行うならば、田舎の診療所の検査と都会の大病院の検査に違いがあってはならないと思います。検査を行う私たちが、知識と技術を習得すれば、都会の大病院以上の検査をすることだって可能です。そのために資格を取得し、学会で発表したり研修会に参加したりして、全国のレベルに引けをとらないような検査を目指しています。また、永井医院の検査技師は、患者さんととても近い位置にいます。疾患があって定期的に検査を行っている方の病態は大体覚えています。患者さんからも「前も検査してもらった」「ここで病気を見つけてもらった」などという声を頂くととても嬉しいです。検査室以外でも採血や問診などで患者さんとお話しする機会も多いので、大きな病院とは違う患者さんとの近さを感じています。最上町にある小さな医院ですが、町外からも永井医院の検査を受けにたくさんの方が来院してくれます。小さな医院でも、日々進歩する最新の医療を提供できるように、努力していきたいと思っています。

検査技師 菅明子



当院には、誕生して間もない赤ちゃんから90歳をこえる患者さんまで幅広い年代の患者さんが来てくれます。みなさんが安心して診察や検査、処置などが受けられるように知識を深め、先生と職員みんなで連携をとり合い、適切かつ迅速に対応できるように日々努力しています。

小さい赤ちゃんが来院した時は、待ち時間が長くなるように、予防注射の疑問や不安も解消できるように、そしてなにより安心して受けられるようにと心がけて対応しています。心配事がある時はいつでもお声をかけて下さい。

毎月通院してくれる患者さんは、生活習慣病や心臓の病気など複数の病気を抱えています。一人ひとりが病気と向き合い、その人らしく生活できるように心に寄り添い、支えになれるような支援をしていきたいと思っています。薬が余った時や、病気や生活に対して疑問や心配事がありましたら、抱え込まずにいつでもお声をかけて下さい。

これからも地域のみなさんに愛され、信頼される医院を目指し、思いやりのある温かい対応を心がけて、日々努力していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

看護師 岸ひろみ

私が医院に入職して早 18 年。私の主な仕事は患者さんの送迎です。入職後から半年程で一人で回りきれない程の患者さんに利用していただきました。利用していただく患者さんの多くは、今も昔もほぼ高齢の方たちです。

私は、元々おじいちゃんおばあちゃん子だったせいか、おじいちゃんやおばあちゃんと会話したり、笑ったりしている事が楽しいです。ですから長年送迎の仕事をしていると、患者さんの体調の良い時も悪い時も、いつも送迎させていただくので、患者さんとの距離が近くなる様に感じます。距離が近くなると、患者さんも私達にいろいろ声をかけてくれるのですが、特に印象にあるのは「永井医院の運転手さんでないとダメだ」とか「ずーっと送り迎えしてけろな」などの言葉です。私は、この様な言葉をいただく時が仕事をしていて何より一番嬉しく感じる時です。ですから感謝の言葉をいただくと“元気に長生きできる様に送迎させてください。”という使命感みたいな思いがこみ上げてきます。

私は、医療技術などの特別な免許は持っていませんが、誰かのために自分が役に立っている事と感謝される仕事をしている事がとても嬉しいです。これからも送迎の有無にかかわらず、患者さんのために役立つ自分でありたいと思います。

総務 西塚衛一



私は、永井医院に勤務をして 15 年になりました。初めは通常業務の他にも患者さんの名前を覚えるのに必死だったことを覚えています。勤続 15 年ともなると、定期通院の患者さんの顔と名前はほとんど覚えることができました。受付時には、なるべく診察券を確認する前に、「〇〇さん、具合はいかがですか？」など言えるように心がけています。以前患者さんに、「1 か月に 1 回しか受診しないのに、名前を覚えてくれたんですね。」と言われたことがあり、嬉しくなりました。反対に、患者さんから「竹澤さん！」と名前を掛けられると嬉しくなります。

医療事務は注射をしたり処置をしたり、検査をしたりなどはできませんが、来院した時に少しでも気持ちが落ち着けるような対応をしていきたいと思っています。

事務 竹澤 優子

編集後記

院長 永井俊一

今回は当院の特徴をまとめてみました。当院のスタッフは、それぞれが自分で考えて行動しています。今回の特集もスタッフが発案してくれて、当院で行っている医療や活動をうまくまとめることができました。スタッフみんなが患者さんのことを思いやって行動している、それが当院の最大の強みなのではないかと思っています。これからもスタッフが一丸となって良い医療を提供していきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。